保育園待機児童の緊急解決を！

濱元幸一郎 議員

濱元 景気悪化や雇用破壊のもとで、共働き世帯が急増する状況が広がっている。安心して子どもを預けることができる保育園の役割は大きい。しかし、この間、入園希望をだしても保育園に入れない等の声が日本共産党にも数多く寄せられている。保育園待機児童の状況はどうなっているか。

健康福祉部長 本年度の4月時点の申し込み状況は、定員1320人に対して、継続申込が1218人、新規の申し込みが524人、合計で1742名となっている。

5月時点の待機児童は69名。

18年度は定員内、19年度も定員内、20年度は42名が待機児童だった。

濱元 5月時点で69名ということだが、お父さんやお母さんたちの間では、この3～4倍とも言われている。来年の4月には2園新設されると聞いているが、それまでの間に緊急の対策を講じるべきだ。

健康福祉部長 これまで既存保育所の定員増、弾力運用により、受け入れをおこなってきた。今年度は一時保育事業を2カ所で実施したい

濱元 一時保育は待機児童対策とは根本的に違う。市町村には、保育所入所と保育保障、足りない場合は保育所整備をすることが求められている。公共施設等を活用して保育士も配置して、市が臨時保育室を設置すべきだ。

市長 行政の責務はある。いろいろな形で研究しながら対応したい。

濱元 臨時保育室について、前向きに検討するということか。

市長 前向きに検討したい。

濱元 保育園が子どもの数に比べて少なくなっているということ。中長期の保育園づくり計画を作成するべきだ。

健康福祉部長 待機児童対策のために保育計画を立てることにしている。

学力テストに関しての基本的考えは？

神田 公司 議員

神田 4月21日、学力テストの実施日、熊本日日新聞の朝刊に、「学力テストで激励文、菊池教育事務所長管内小・中学校に配布」と記事が掲載された。この激励文には「4月21日火曜日、全国学力学習状況調査です。一年に一回の学力の全国大会です」と書いてあった。全国学力学習状況調査は一年に一回の学力の全国大会なのか。

教育長 この文についてはやはり行き過ぎがある。菊池郡市の教育長4名で所長に「行き過ぎである」と抗議をした。

神田 自民党のプロジェクトの指摘にもあるように、このテストが一斉一律で実施するよりも、抽出して調査としてやる。もう全国一斉の学力テストは必要ないと思うが、教育委員会はどう思われるのか。

教育長 やめたらどうかということだが、そこまでは今のところは考えていない。

教育委員長 市教委の責任ということを考えると、やはり、やる、やらない、結果をどうするは、教育委員会の議題として論議をすべきだ。

神田 4月16日に合志市自治基本条例検討懇話会から提言書が市長に提出された。今、自治基本条例の最大のポイントは。

市長 まずは市民も、議会も、大きく市の職員が変化していくことを期待している。

神田 今の最大のポイントは市民の共感だ。自治基本条例が必要だとする、あるいは大事だとする市民の共有、共感が今はほとんどない。

市長 共有という点については12月定例会には提案をし、議決をされれば、その後市民説明会・討論会などをしていきたい。

神田 市民に丁寧に説明する場を持たれるのか。

市長 条例制定までの説明会というのは、もうできない。

市民検討会の様子

平成!!

吉永 健司 議員

吉永 本年、今上陛下ご即位20年を迎えられ、熊本県では蒲島知事を名誉顧問に奉祝委員会が結成され市長も委員になられている。ただ、県内14市中、合志市議会議長のみ委員になっていない。議会として考えなければいけない。市として、式典等の考えは。支所等は。

市長 10月13日から18日まで、庁舎ロビーにパネル展、ビデオ上映を考えている。パネル等が市の所有ではないので規模は今後つめていく。

教育現場の障害

吉永 公共施設での国旗の常掲が完全ではない理由は。

教育部長 盗難防止と聞いている。

吉永 学校開業日に盗難がある環境なら問題である。何らかの障害があるなら、その障害を取り除き健全な子ども達を育てていただきたい。

脱、ゆとり教育

吉永 藤井教育委員長が今議会を最後にご勇退なさる。その功績は大きく、教育環境整備にご尽力いただいた結果は、県内及び全国でもトップクラスになった。医療費の無料化より有意義な状況にある。もっとアピールしてよい。その中で、全国学力調査の公表をどう考え、どう活かす。過度の競争を避ける等あるが義務教育の「いいよ、いいよ」が、社会に出れば常に競争の中に生きざるを得ない。少しでも強い子供を育てる教育にしていくのが大事。保護者にアンケート等をとり体力、学力調査をどう活かすか方向を示すべき。小学校の英語教育では教材は?評価は?子どもたちが抵抗感無く英語学習に取り組める教育にしていただきたい。また中学校との連携も大切。

教育長 公表は考えていないが内部では十分研究し指導していく。アンケート等を実施して保護者や地域の方々がどう考えているかを知り教育に活かすことは大切と思う。

公共施設の国旗掲揚

命をあずかる市の安全・安心体制は！

濱口 正暁 議員

新型インフルエンザについて

濱口 合志市、現状の取り組みは。

総務企画部長 市では健康づくり推進課、環境衛生課、総務課の3課を中心に新型インフルエンザに対応している。健康づくり推進課では5月中に「電話相談窓口」の設置、予防啓発チラシ等の各戸配布を実施した。

濱口 本格化懸念の冬への対応は。

総務企画部長 菊池保健所管内の2市2町で「新型インフルエンザ対策合同検討会」を設けて、対策行動計画並びに業務継続計画の2計画を秋までに策定し、9月議会に設置条例案、運営費等の予算措置を上程予定である。

濱口 一般市民、学校等への対応は。

教育長 学校の臨時休校、学級閉鎖については校医・保健所と十分相談して感染防止並びに社会不安とのバランスを十分検討して決めて行きたい。

健康福祉部長 医療体制については現状弱毒性の段階では通常インフルエンザと同様体制で行く。

濱口 大流行した場合は大型地震発生と同様の社会混乱を起こす恐れがあるので「総合防災訓練」に〝新型インフルエンザ対応〟等の折り込み、検討願いたい。

消防新システムの進捗状況は

濱口 今年度予算等も計上されているが完成予定及び、稼働予定はいつか。

総務企画部長 今年3月末に建屋の設計を完了し、平成21年度に増築・新システム装置の設置、平成22年度からの稼働が予定されている。

合併特例債の利用状況について

濱口 合併して3年、今まで使用した特例債の金額と今後の見込みは。

総務企画部長 合併特例債の利用可能額は総額で約131億円。20年度までの実績は23億8,000万円、今後の使途は道路改良工事、学校施設の耐震補強等必要最小限で有効活用したい。

消防新システム装置